

水戸市議会報

令和4年

3月定例会

No.239

2022年5月1日号

令和4年度当初予算 2,074億円を可決

- 可決した議案……………3
- 代表質問，一般質問……………4～11
- 常任・特別委員会報告……………12，13
- 令和4年度予算……………14，15



本格的な英国式庭園の七ツ洞公園(下国井町)。大小5つの池とこれらを支えるダムや周辺の森からなり、5月には庭園のイングリッシュローズが見頃を迎え、散策しながら豊かな自然を堪能できます。



令和4年度を迎えて

議長 須田 浩和
副議長 大津 亮一



令和4年第1回定例会では、市政運営の基本となる当初予算などの議案について、慎重に審議し、議決いたしました。

地方自治体を取り巻く環境は、新たな価値観による行動様式や住民意識の変化など、より一層、複雑・多様化しており、様々な行政課題への取組が求められていると

議会におきましても、本市で生まれた子どもたちが地域に愛着を持ち、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりに向けて、市民ニーズを丁寧に捉えながら、引き続き、積極的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスの影響により社会経済活動が繰り返し制限されてきましたが、市民の皆様が笑顔でいきいきと暮らせる日常を一日も早く取り戻せるよう、一層努力してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

定例会あらまし



会期

3月7日から24日までの18日間

決議

・議員提出の決議1件を可決
(3ページ参照)

議員質問

・代表質問6名(4~6ページ参照)
・一般質問17名(7~11ページ参照)

委員会付託議案

(1)各常任委員会及び新市民会館整備等調査特別委員会における市長提出議案の審査

(2)各常任委員長及び新市民会館整備等調査特別委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告(12、13ページ参照)
(3)討論 反対2名、賛成1名
(4)採決 原案のとおり可決

人事案件

・市長追加提出の人事案件5件を同意(3ページ参照)

議員提出議案

・議員提出の議案1件を可決(3ページ参照)

意見書

・議員提出の意見書5件を可決(3ページ参照)

陳情

(1)総務環境委員長による陳情審査結果の報告
(2)令和4年陳情第1号を不採択(11ページ参照)
(3)陳情の閉会中継続審査を決定

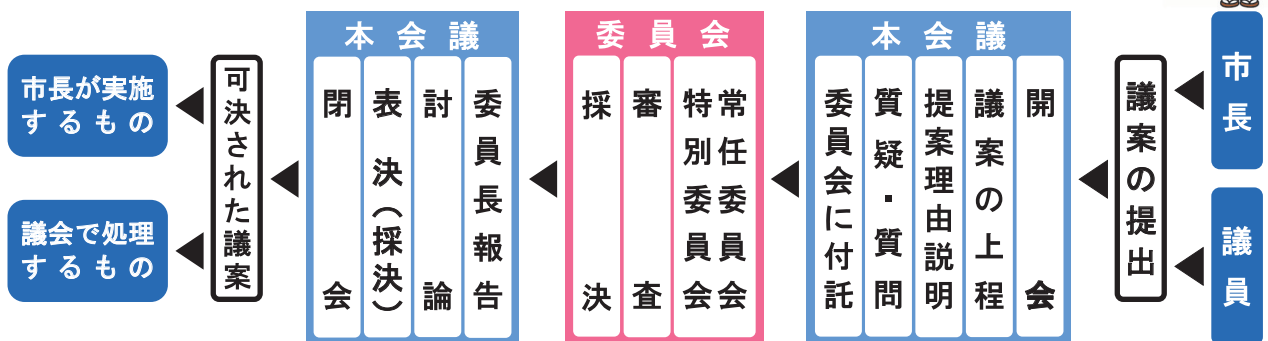
閉会中所管事務調査

・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定



本会議の様子

議案審査の流れを紹介します



可決した議案



今定例会で可決した主な議案を紹介します。

市長提出議案	計	45件
令和4年度予算		13件
令和3年度補正予算		6件
条例の廃止及び改正		17件
その他		9件

令和4年度予算(14、15ページ参照)

◆予算総額

2074億580万円

〔一般会計〕

1244億7200万円

〔特別会計〕

539億7580万円

〔公営企業会計〕

289億5800万円

公の施設の広域利用に関する協議

広域利用に供する施設の追加等について、協定市町村と協議するため、議会の議決を求めるもの

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

消防団員の処遇改善を図るため、報酬額の見直し等を行うもの

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正

仮設トイレに係るし尿処理手数料の見直しを行うもの

都市下水道等管理条例の一部改正

下水道法施行令の改正に伴い、都市下水道等の維持管理基準の追加を行うもの

国民健康保険条例の一部改正

世帯別平等割を廃止し、所得割及び被保険者均等割による賦課方式へ変更することに伴い、税率改正を実施するとともに、子育て世帯の負担軽減を図るため、18歳までの被保険者に係る均等割額を軽減するもの

駐車場条例の一部改正

五軒町立体駐車場を追加し、使用料を定めるとともに、五軒町地下駐車場の使用料の見直しを行うもの

財産の取得

新市民会館の舞台照明機器を取得するもの

令和3年度一般会計補正予算(11号)補正総額

19億2150万円増

◆主な事業等

- ・ 民間保育所や幼稚園等に勤務する職員の賃金改善の支援
- ・ 通学路や都市計画道路の整備
- ・ 酒門小学校及び渡里小学校の長寿命化改良
- ・ 小学校給食室のエアコン整備
- ・ 県の路線バス運行支援に対する一部負担

人事

人権擁護委員候補者

遠藤 俊弘(再推薦)
上 畠 佳子(再推薦)
藤 本 貫大(再推薦)
金 澤 容子(推薦)
石 川 千春(推薦)

議員提出議案

2件

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議(下記参照)

市議会委員会条例の一部改正

こども部の設置に伴い、文教福祉委員会の所管に同部を加えるもの

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

3月7日の本会議において全会一致で可決し、決議文を内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長及び参議院議長宛てそれぞれ送付しました。

詳細については、右QRコードをご参照ください。



可決した意見書



議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 中国官憲によるウイグル人への人権弾圧と日本国内における不法監視や脅迫に断固抗議を求める意見書
- 2 北朝鮮拉致被害者の現状調査と早期救出、ミサイル発射への対抗措置を求める意見書
- 3 成年年齢引下げやデジタル化の進展等に伴う消費者被害対策の強化を求める意見書
- 4 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書
- 5 介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化と対象職種の拡大を求める意見書



魁、水戸



本市財政の現状と
今後の運営方針は

今後の運営方針は

Q 近年一部の市民から財政状況を危惧する声を聞く。そうした意見にも真摯に応え、今後の財政計画を明確に示すことが大事である。(1)令和4年度予算を反映した最新の4大プロジェクトの財政計画、(2)4年度末の市債残高見込額の内訳、(3)公債費のピーク時期と見込額をそれぞれ伺いたい。(4)新市民会館のオープン以降は財政運営のかじ取りを転換すべき時期と考える。今後の運営方針を伺いたい。

A (1)新市民会館整備の国補助増額等により、市の実質負担額は237億円となり、その割合は28・9%に改善した。(2)見込額2006億円のうち、4大プロジェクトに係るものが全体の16・3%を占める。(3)令和11年度がピークの見通しであり、125億円を見込む。(4)将来にわたり持続可能な財政基盤を確立するための指針として、新たにもと未来財政プランを策定し、財務体質の改善を強力に進める。

南部地区への図書館整備に向けた
検討状況は

Q 笠原地区などの南部地区では児童

生徒の数が劇的に増えており、地域住民からの図書館整備の要望が多い。他の定住人口の多い地区と同様に、戦略的に文化施設を整備し、引き続き、選ばれる地域として磨き上げるべきと考える。以前の市長答弁では検討するとのことであった。現在の進捗状況を伺いたい。

A 当該エリアでは今後も人口増加が見込まれるため、新たな図書館整備の必要性を強く認識している。そのため、現在、地域住民の意向調査等を行っており、今後、それらの分析結果を踏まえながら、次期総合計画及び第4次図書館基本計画の策定を進める中で、南部地区への新たな図書館整備を盛り込む方向で担当課に指示する。



発展が著しい笠原地区

その他の質問

- 第7次総合計画策定に当たった基本理念は
- 市民1万人アンケートの方針と実施時期は
- 連携中核都市圏の取組に係る予算と負担割合は
- TX延伸・水戸ルート実現に向け可能性の追求を
- 学校施設の緊急安全対策事業の対象と優先順位は

公明党水戸市議会



こども部設置に伴う
子育て支援の充実を

子育て支援の充実を

Q コロナ禍において、児童虐待相談件数や不登校者数等が過去最高を更新し、保護者の負担や出費の増が指摘されている。国はこども家庭庁を創設するとしているが、本市が4月に新設するこども部の具体的な内容、特に子育て世帯への経済的な負担軽減策を伺いたい。

A 新たな政策立案に取り組みながら、妊娠・出産・育児への切れ目ない支援や幼児教育・保育環境の充実を図り、配慮が必要な子どもへの支援、DV等の社会的課題の解決に向けた体制の強化など、多様化するニーズを踏まえ、安心して子どもを生み育てやすい環境をつくっていく。負担軽減策については全庁横断的に調査し、ニーズを把握した上で、優先順位を付けて総合的な支援策をこれまで以上に講じていく。さらに、子育て支援サービスを積極的に情報発信する。

学校施設の老朽化対策に係る
主な内容と今後の計画は

主な内容と今後の計画は

Q 市は長寿命化計画を策定し、学校施設の老朽化対策を行っている。学校施設の対象建物のうち75%が

築30年以上であり、今後10年間で多くの施設が大規模改修や長寿命化改修等の時期を迎えると聞いている。令和4年度予算では学校施設の緊急安全対策事業費として2億3千万円を計上しているが、老朽化対策の主な内容と今後のスケジュールを伺いたい。

A 学校へのヒアリング等でリスト化した要修繕箇所や、施設の老朽化に伴い増加している突発的な緊急修繕箇所について、児童生徒の安全やライフラインに関わるものを最優先に修繕するとともに、修繕対象の裾野を広げ、細部にわたり不具合箇所の解消に努める。今後5か年を目標に集中的に事業を推進し、児童生徒が快適に過ごせる環境づくりに最優先で取り組む。



千波小学校(屋上の防水改修工事を予定)

その他の質問

- 新市民会館の開館に向けた取組内容は
- 観光コンベンションの体制強化策は
- 特定健診の自己負担金無料化の検討を
- 水戸黄門漫遊マラソンでの感染症対策は
- 通学路の危険箇所解消の進捗状況は

水政会



通学路等の安全対策と

新年度の取組方針は

Q 大津市や八街市で園児や児童が交通事故で死傷する痛ましい事故が発生している。本市では近年重大な交通事故は発生していないが、通学路の安全確保は喫緊の課題である。また、保育所や幼稚園の園外活動など未就学児が集団で移動する経路でも十分に安全対策を講じるべきである。これまでの現場の状況、令和4年度における取組方針について伺いたい。

A 八街市で発生した事故を受け、関係機関との合同点検等をそれぞれ実施し、通学路では54か所、園外活動での通行経路では59か所の危険箇所への安全対策を講じてきた。通学路の安全対策を引き続き推進するとともに、園児等に対する交通安全対策の強化として、キッズゾーンを設定することとした。令和4年度は路面標示等の整備に取り組んでいく。

ブースター接種及び

小児接種の状況と見通しは

Q 新型コロナウイルス感染症が日々増大している。少しでも不安を取り除くために、より多くの子ども

たちに3回目のワクチン接種、ブースター接種を推進することとあわせ、5〜11歳の、より多くの子どもたちへの接種を可能な限り迅速に進めていくことが重要である。現在の接種状況と今後の見通しについて伺いたい。

A 3月13日時点で3回目接種が可能なる方を対象に算出すると、高齢者が88%、全年代では76%が接種済みである。高齢者の希望者はおおむね接種が完了しており、64歳以下の希望者は5月中旬までに完了する見込みである。小児における予約済みを含めた接種見込みは14%であり、様子を見ている保護者が多く見受けられる。分かりやすく丁寧な情報発信し、安心して接種できる体制を整備する。



市大規模接種会場(総合運動公園体育館)

その他の質問
 ○新型コロナウイルス第6波の総括と保健所の体制は
 ○決算から見た財政指標と財政の将来展望は
 ○令和4年度当初予算編成方針と重点施策は
 ○いばらき県央地域連携中核都市圏(シヨンの目標は
 ○浸水想定区域における今後の防災・減災対策は

誠和会



那珂川緊急治水対策

プロジェクトの進捗状況は

Q 令和元年台風第19号により飯富地区をはじめとした市内各所で甚大な浸水被害が生じた。この発災以降、那珂川緊急治水対策プロジェクトが着実に進められており、地域住民は事業の早期完了を願っている。(1)本プロジェクトで新たに位置付けられた吉沼地区の堤防整備に関する最新情報や、(2)河川治水に有効な河道掘削の進捗状況を伺いたい。

A (1)地元関係者説明会を開催し、事業内容や進め方について賛同いただいた。また、事業区間にある共同墓地の関係者の方々にも今後の進め方について周知しながら、用地測量や補償調査を進めている。(2)川が大きく蛇行している渡里地区をはじめ水府・若宮地区や、ひたちなか市枝川地区を集中的に進めている。その他の区間でも用地がまとまった箇所から着手する。

(仮称)東部公園の整備進捗と

部分供用開始の見通しは

Q (仮称)東部公園は、スポーツ・レクリエーションゾーンと自然公園ゾーンで構成される総合公園であ

り、東部地区における重要な交流拠点である。今後、多くの方々に利用され、地域の発展に大きく寄与するものと期待する。第6次総合計画2か年実施計画では、令和5年度にサッカーグラウンド2面のうち1面が完成と示されている。現在の進捗状況と部分供用開始の見通しについて伺いたい。

A 令和3年度末にはサッカーグラウンドの路盤整備が完了するとともに、給水設備や園路舗装等が部分完了する予定である。引き続き整備進捗に努め、人工芝のサッカーグラウンド1面については、先行的に5年度の供用開始を目指す。その後は、ジョギングロードや管理棟、残るサッカーグラウンド1面の整備を進めていく。



整備中のサッカーグラウンド

その他の質問
 ○令和4年度当初予算の編成方針及び重点施策は
 ○地球温暖化対策実行計画(第2次の策定期間は
 ○公設地方卸売市場再整備の進捗と将来の展望は
 ○学校給食の堅持と充実に向けた予算措置の内容は
 ○持続可能な農業構造と生産体制確立への見解は



フォーラム水戸



新型コロナウイルス感染拡大防止の市の取組は

Q オミクロン株は従来のウイルスに比べて感染力が非常に強く、保健所業務がひっ迫し、市民の安心安全の確保に支障を来す状況となった。(1)感染者の十分な健康観察やフォロワー等、保健所体制の強化は。

(2)小児ワフチンの分かりやすい広報や接種体制は。(3)厳しい経済状況が続くため、市の継続的な支援を実施すべきと考えるがどうか。

A (1)保健所の応援体制を強化し、検査やメディカルチェックの対象者の限定など、重点化を図り保健所機能の維持に努めてきた。(2)小児ワフチンの有効性や安全性などを丁寧に情報発信し、保護者等の安心につながるきめこまやかな体制整備に努める。(3)新たな支援制度「事業継続応援支援金」の早期給付に努める。更なる経済対策も検討し、コロナ禍で大きな打撃を受けた事業者への支援策と、本格的な経済成長に向けた取組を推進する。

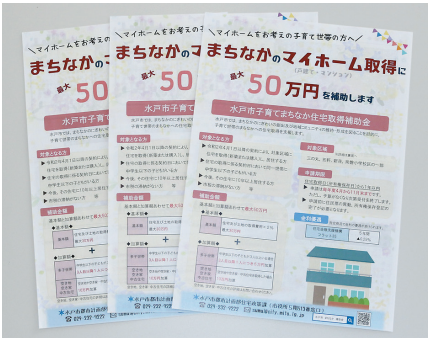
魅力ある

都市機能の充実に向けた取組は

Q 全国的に人口減少、超高齢社会が進展し、本市でも将来的な人口減

少は避けがたい状況にある。本市が、東京からの転出先として選ばれる、住み続けられるまちとなるために、魅力ある都市機能の充実が必要と考える。今後の取組を伺いたい。

A 持続可能なまちづくりに向け、時代の変化に対応できるコンパクトな都市構造を展望した「魅力・活力集積型スマート・エコシティ」の構築を目指している。その実現に向け、立地適正化計画を策定し、都市機能や居住を適正に誘導している。中でも、まちなか居住の推進として、子育て世帯が対象の支援制度を創設し、これまで127世帯の住みかえにつながった。都市中枢機能や居住機能等の集積を図る取組を進めていく。



子育てまちなか住宅取得補助金 案内チラシ

その他の質問

- 市政運営の基本姿勢は
- 産業振興と企業誘致による雇用創出への取組は
- 教育環境の充実について
- ・ 教員の働き方改革の現状と取組は
- ・ 児童生徒の学力・体力向上への取組は

日本共産党水戸市議団



東海第二原発の再稼働に反対し 廃炉を求める表明を

Q ロシアによるウクライナ原発攻撃は他人事ではない。国内の原発は武力攻撃を想定しておらず、延長された東海第二原発の工事が完了しても万全ではないことを原子力規制委員会が認めている。原電は

いまだ最大規模の災害や被害想定も示しておらず、実効性ある避難計画ができるはずがない。県は避難者一人当たりの面積を3㎡以上に変更するが、依然として事務所等の基準面積より狭く感染対策とも両立できない。医療機関や福祉施設の避難手段確保も不可能だ。市長は直ちに原発再稼働反対と廃炉を求める表明をすべきではないか。避難所の感染対策や面積の見直し等を県・近隣自治体と協議している。原電に被害想定を提出を求め、避難計画の策定なしに再稼働はあり得ず、多くの市民等の声を考慮しながら最終的な判断を下す。

新市民会館の税金支出の中止と 事業見直しを

Q (1)令和4年度の新市民会館関連事業の予算は約113億円で小学校改修予算の8倍にもなる。住民や

事業者を追い出さなければ成り立たない事業であり、完成後も年間約3億7千万円の維持費など重い負担が続く。多額の市債発行で4年度末の借金は2500億円を超え過去最高となる。税金支出中止を求める住民訴訟中であり、事業の中止と見直しを強く求める。税金はコロナ対策など生活関連事業に回すべきだ。(2)完成後の渋滞発生は確実だが、市は整備に関する「市と県警との交通協議記録」を黒塗りにして情報を秘密にしている。直ちに公開を求めるがどうか。

A (1)新市民会館の開館に不可欠な予算であり、健全な財政運営に努める。(2)協議文書の開示は情報公開・個人情報保護審査会の答申を踏まえた適切な対応と考える。



建設中の新市民会館(泉町1丁目)

その他の質問

- 学校・保育所・高齢者施設にコロナ検査を
- 保健所体制の強化に向けた大幅な増員を
- 国保税の値下げと18歳未満の均等割の免除を
- 自治体としてのCO2削減目標は
- CO2削減に向けた専門的支援窓口設置を

教員の働き方改革に向けた市の取組は

たかぐら
倉
富
士
男

Q (1)1月に文科省が発表した教員不足に関する調査結果によると、本市における教員不足が顕著であることが明らかになった。この結果を踏まえ、市でも県と連携し、教員不足解消に向けた取組を着実に進めていくことが必要である。市の現状や教員の確保策について伺いたい。(2)教員の長時間労働も課題となっているが、コロナ禍で新たな対応も重なり、さらに教員の負担が増えている。市の学校現場における業務改善に向けた取組を伺いたい。

A (1)担任外の教員等が小学校で約9人、中学校で4人不足している。水戸教育事務所と連携し、講師志願者の把握に努めている。(2)教職員の働き方改革基本方針を策定し、自動音声装置の全校設置や学校弁護士相談事業等に取り組んでいる。



その他の質問

- 子育て家庭やヤングケアラー等への訪問型支援は
- 帯状疱疹予防ワクチン接種に対する公費助成は
- 地域運動部活動の効果と今後の取組は

多様な個人に対応した市民1万人アンケートの実施を

なかがわ
川
理
友

Q 次期総合計画の策定に向け、市民1万人アンケートを実施すると聞いている。誰もが市政に参画しやすい環境づくりを推進していくために、例えば性別欄を男・女のみ記載ではなく、3つ目の選択肢としてその他・自由記載等を設定することや世帯状況等の設問がある場合には、「配偶者」という言葉の後に「等」を付け、事実婚の方やいばらきパートナーシップ宣誓者も丸が付けられるようにするなどの対応が考えられる。市民の実態を調査するためのアンケートが、選択肢がないゆえに事実と異なる回答をせざるを得なかったり、疎外感を感じたりしては本末転倒である。見解を伺いたい。

A 性別欄には「その他または回答しない」を新たに設け、家族構成欄についても「配偶者等」を設ける。



市民1万人アンケート(イメージ)

その他の質問

- オンライン学習の家庭通信環境の整備方針は
- 子どもたちの運動能力低下に対する取組は
- 運動能力低下に関する保護者への情報提供は

徳川光圀公生誕400年記念事業の総合計画への位置付けを!

はなびや
萩
谷
一
慎

Q 令和10年は、徳川光圀公生誕400年の記念すべき年であり、本市の観光戦略にとって千載一遇のチャンスである。光圀公や市内のゆかりある史跡群(笠原水道、水戸黄門神社、保和苑及び周辺エリア)にも光を当て、景観整備、保存活用、全国PRを戦略的に検討する必要がある。今後、官民連携による検討委員会を設け、具体的に戦略を検討するとともに、第7次総合計画に記念事業の推進と関連史跡群の景観整備を位置付けてはどうか、見解を伺いたい。

A 6年後のため、しかるべき時期に事業内容を検討する。庁内関係部署等と連携しながら、光圀公ゆかりの史跡群の更なる魅力向上に努める。多くの方々が興味・関心を持てるよう、戦略的な情報発信により、観光誘客につなげていく。



市民団体による笠原水道周辺の美化活動

その他の質問

- 子どもへの新型コロナワクチン接種の必要性は
- チームラボの事業は梅まつり期間外に変更を
- 10年後を想定した新市民会館の経営を

市内全域で利用できるデマンドタクシーの実現を

なかがわ
中
庭
次
男

Q 高齢者や障害者等を安い料金で自宅から外出先まで送迎をするデマンド型乗合タクシーの実現を求める陳情書が市議会に提出されている。多くの周辺市町村でも運行されており、本市でも高齢者等の交通手段の確保策として導入する考えはないのか。(2)市では8地区で1000円タクシーを運行しているが、料金が高い、利用しにくいとの声がある。利用者も1地区平均35人にとどまっていることから、改善点として、料金の引き下げ、限定される行き先の改善、利用時間の延長、土日の運行を求めるがどうか。

A (1)都市の特性やニーズ、導入効果や課題を含め、調査・研究を進める。(2)利用時間の変更は難しい。制度のPR、目的地の拡大や運賃設定の見直しを図る。



1,000円タクシー 上大野・下大野号

その他の質問

- 水戸駅前三の丸地区再開発の市補助の中止を
- 市営河和田住宅は計画どおり建てかえを
- 市立幼稚園廃止計画の中止と幼稚園教育の充実を



出生数の増加に向けた 経済的支援制度の検討を

本
市
松
久
勝

Q 人口減少社会を迎え、出生数の減少が深刻化している。その要因には様々な社会的課題が挙げられているが、一番の要因は経済的負担だと考える。育児休業中は収入が減少してしまうため、特に若い世代は不安に感じている。育児休業給付金の期間を延長するなど、市独自の経済的支援制度を検討してはどうか。

A 出生数の増加には婚姻数の維持・増加も非常に重要であり、令和4年度から県央地区9自治体が一体となって婚活支援事業を進める。経済的負担の軽減策については、福祉・教育・医療等の様々な観点から全庁横断的に調査するとともに、ニーズを把握した上で、優先順位を付けながら、子どもの成長ステージごとの総合的な支援策を講じていく。

市立保育所の保育士等の 処遇改善に対する見解は

田
飯
正
美

Q 昨年11月に保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業が閣議決定された。今定例会に提案された補正予算では、当該事業の活用による民間保育士等の処遇改善が示されたが、市立保育所の保育士等への取組はなく消極的と感じる。特別勤務手当の増額等は実施可能と考えており、保育士不足解消のためにも常勤職員及び会計年度任用職員の処遇改善を求める。

A 本市の常勤職員の保育士・幼稚園教諭については、業務の困難性等に応じた適正な給与水準を確保している。また、会計年度任用職員については、令和2年度に従前の月額報酬から約1万7千円増額するとともに期末手当を新設した。現時点では当該事業の活用を予定しておらず、今後も適正な給与及び報酬水準の確保に努めていく。

激甚化・頻発化する災害への 準備状況と取組は

黒
木
勇

Q 気候変動の影響で台風や豪雨等の自然災害が激甚化・頻発化する中、避難拠点の防災機能強化や避難所環境の改善、流域全体での総合的治水対策「流域治水」等の推進が必要である。取組状況を伺いたい。

A 避難所等の防災機能強化として、耐震化や停電対策、WiFi環境の整備やトイレの洋式化を実施した。避難所運営に当たり、多様な視点や要配慮者への対応を踏まえ、女性専用トイレや更衣室、授乳室の設置、アレルギーに配慮した非常食や乳幼児用液体ミルク等の備蓄に取り組んだ。現在は感染症対策を強化し、避難所の場所・混雑状況を確認できるシステムを導入した。国の「流域治水対策プロジェクト」に基づき、大野・吉沼地区の堤防整備が進められており、災害リスクの軽減に努める。

人権侵害とその本質、 人としての在り方とは

渡
辺
政
明

Q 世界では横暴な国家権力による人権侵害事案が発生している。特に中国によるウイグル人に対する迫害や拷問、強制収容等の弾圧はジェノサイド^{※1}として国連や良識ある各国で抗議、糾弾されている。日本国内でも関係者と思われる人による尾行や脅迫が行われていると日本ウイグル協会関係者等から窮状を訴える声も市にも届いていると聞く。市の対応や今後の取組方針について伺いたい。

A 人種や民族、性別を超えて誰もが生まれながらに持っている基本的人権は誰からも侵されることのない権利であり、これを侵害することとは決して許されない。市民センターにウイグルに関する人権啓発の冊子を設置した。関係団体等と連携し、人権啓発の取組を進め、差別や偏見のない社会を目指す。



本市で生まれた子どもたち

その他の質問

- みと町内会・自治会カード事業について
- ・協力店募集に当たっての勧誘方法や市の関与は
- ・当該事業の効果を高めるための今後の取組は



市立保育所の保育の様子

その他の質問

- ごみの分別収集の現状と外国人居住者への対応は
- ごみ処理量の削減や再資源化の取組状況は
- 新たに設立された労働者協同組合との関わりは



乳幼児用液体ミルク

その他の質問

- 災害弱者の避難計画や訓練実施の進捗は
- 耐震型循環式飲料水貯水槽の整備進捗は
- 那珂川における水質の管理体制は



ウイグルに関する人権啓発冊子

その他の質問

- 人権教育用アニメ「めぐみ」を生かした取組は
- 泉町1丁目東北エリア愛称募集とまちづくり展望は
- 協同病院内のバス乗り入れに係る協議進捗は

※1 ジェノサイド…国民的、民族的、人種的、宗教的な集団の全部または一部を破壊する意図をもって行われる行為。

成年後見制度※2の普及・啓発活動と利用促進の実施を

森正

Q 超高齢社会において認知症有病率等が増加する中、成年後見制度のニーズは年々高まっている。しかし、制度の認知度が低く手続きが煩雑で利用につながらない現状がある。市は今後、連携中枢都市圏による広域の成年後見制度利用促進事業を進めることから、この機会に分かりやすく丁寧な制度の普及・啓発活動と利用促進を実施すべきと考える。見解を伺いたい。

A 県央地域権利擁護地域連携ネットワーク協議会を設置し、制度の普及啓発や利用促進、担い手不足対策に取り組んでいる。令和4年度からは成年後見人等候補者を調整する受任候補者調整会議を設置し、市民後見人の活用も含め、制度の利用促進に努める。今後、協議会等での取組の充実を図り、制度の周知や利用環境の整備を進める。



成年後見制度のパンフレット

その他の質問

- 農産物のブランド力向上への支援強化を
- 持続可能な農業の実現に向けた取組強化を
- 農福連携事業とユニバーサル農業の推進を

女性特有のがん検診受診率向上の取組は

藤子通

Q (1)市では21歳の方に子宮頸がん検診の無料券を、41歳の方に乳がん検診の無料券を配布している。券配布による受診率の状況を伺いたい。(2)好発年齢^{※3}期にがんの受診勧奨を行い、受診率が約2倍に向上したとのことだが、多忙な時期にある女性が継続して検診受診し、がんを早期発見していくことが重要と考える。子どもを生み育てやすい環境を整備し、若い方にアピールすることで市への興味も高まるのではないかと見解を伺いたい。

A (1)それぞれ受診率が上昇しており、検診受診のきっかけづくりになったと考える。(2)土日検診の実施や集団検診のWeb予約の導入、託児サービスの再開など、引き続き受診しやすい環境づくりに努める。好発年齢期の無料券の再度配布については、負担軽減策を検討する。



乳がん啓発運動の象徴「ピンクリボン」

その他の質問

- 部活動の在り方への見解や位置付けは
- 部活動指導員の活用状況と効果は
- 効率的に手続きできる窓口体制への見解は

市立博物館の予算・人員拡充と新市民会館整備計画の見直しを

土田美代

Q (1)市立博物館では老朽化や収蔵庫不足だけでなく、古い展示ケースを心配する声も聞く。また、学芸員は各部門に一人だけで、現場で後継者を育てることもできない。県都水戸の博物館として、市民が誇れる文化の拠点となるよう、予算と人員の大幅な拡充を求めるがどうか。(2)新市民会館の指定管理者となる業者が、他市では同規模の施設を0円で請け負っている事例があるが、本市は年間約3億2千万円も支払う。民間の運営では貸館事業が中心となり、市民のための自主事業は行われないと考える。計画を見直すべきだがどうか。

A (1)令和4年度に展示ケースを改修予定であり、貴重な資料を将来世代に守り伝える取組を推進する。(2)市民サービス向上と経費節減等を図るものであり計画を推進する。



市立博物館(大町3丁目)

その他の質問

- 学校プール廃止の撤回と1校1プールの堅持を
- 部活動の保護者負担軽減のため市が財政負担を
- 東海第二原発の使用済み核燃料の保管について

難聴の早期発見に向けた今後の取組と方針は

鈴木宣子

Q 難聴は、早期に発見され適切な支援が行われた場合、より有効に音声言語の発達を促すことが可能であり、難聴児への早期支援の促進が重要である。国の調査では、新生児の少なくとも1割が聴覚検査を受けておらず、難聴に気づかないまま成長することが懸念される。令和4年度予算に盛り込んだ難聴児支援に係る取組と難聴の早期発見への見解を伺いたい。

A 検査未実施の理由に費用の負担を挙げる保護者もいたことから、令和4年度から検査費用の一部助成事業を実施して保護者の経済的負担を軽減し、要支援児への治療が適切な時期に開始されるよう支援を図りながら、新生児聴覚検査を推進し、子どもの健全な発達及び生活の質の向上を支援していく。



新生児

その他の質問

- 観光振興を図るグランピング施設整備への見解は
- 環境配慮型素材の指定ごみ袋導入の検討は
- 多胎児を育てる家庭への支援の現状は

※2 成年後見制度…認知症や知的障害、精神障害などの理由で物事の判断能力が不十分となった方の財産管理や日常生活を法的に保護・支援し、本人の権利を守る制度のこと。



都市計画道路3・3・2号
中大野中河内線への信号機設置を

ひびき 綿引 健

Q 2月に都市計画道路3・3・2号

中大野中河内線の県道中石崎水戸線の西側0・8km区間が開通し、地域でも喜びの声がある。しかし、開通から4日後に市道浜田6号線と本線が交わる交差点で車両同士の交通事故が発生した。当該交差点の南北横断には信号機が設置されておらず、開通前から安全性について懸念されていた。当該交差点には幼稚園が近接し、朝夕には送迎の車両も多くなるため、信号機の設置が求められている。これまでの市の対応及び県への要望状況について伺いたい。

A 当該区間は県の事業であり、施工者である県が設計の段階で県警と事前協議を行い、決定したと聞いている。市としても通勤時間帯の交通量調査等を行い、実態を把握した上で県警に要望していく。



信号機設置の要望がある交差点

その他の質問

- 中大野中河内線開通区間への街灯の設置を
- 宅配ボックス設置促進補助金の創設を

那珂川緊急治水対策プロジェクトの
進捗と今後の計画は

おがわ 小川 勝夫

Q (1)令和元年台風第19号による大水害を踏まえ策定された那珂川緊急治水対策プロジェクトは、令和4年度で中間年度を迎える。これまで

の進捗状況を伺いたい。(2)上流域で堤防整備や河道掘削等が進み、川の流れが良くなることで、最下流域の常澄地区にしわ寄せが来ないかと住民は不安に感じている。特に東水戸道路から下流域については計画が示されていない。那珂川下流域での今後の進め方や整備の見通しを伺いたい。

A (1)大野地区、吉沼地区で築堤事業が急ピッチで進められている。流下能力の向上を図る河道掘削は、川が大きく蛇行する渡里地区等で集中的に進められている。(2)堤防整備等の効果、検証を踏まえ、現地に最適な対策手法を地域とともに検討する必要がある。



那珂川下流域

その他の質問

- 新清掃工場周辺整備の進捗と今後のスケジュールは

苦境に立つ農業者への支援と
持続可能な生産体制の構築を

こいずみ 小泉 二朗

Q コロナ禍による化学肥料や農薬資材の高騰、農産物の販売価格の低下に多くの農業者が苦しんでいる。また、現在の世界情勢不安によつて肥料等の調達に困難になると、更なる状況悪化のおそれもある。今後、本市の農業者に対する緊急支援とあわせ、国が示すみどりの食料システム戦略等を基に、本市独自の持続可能な生産体制の構築が必要と考える。見解を伺う。

A 環境負荷の低減に配慮した生産体制の確立が重要と認識している。今後、関係機関と連携し、新技術等の情報収集に努めるとともに、国の支援制度を活用しながら、環境負荷を低減する農業振興を図っていく。また、農業者の意見を伺うとともに、他市の事例等を調査しながら、本市農業の特性に合った支援策を検討していく。



持続可能な生産体制の構築を必要とする農業現場

その他の質問

- 世界情勢不安を踏まえ市全体での省エネ対策を
- 行政のデジタル化・まちのDXに向けた展望は
- 水戸黄門漫遊マラソンのフルスペック開催を

eスポーツの現状と
青少年への影響に対する見解は

あんぞう 安藏 宗

Q eスポーツは世界中で競技人口が増加し、新たな文化として注目されている一方、児童生徒への健康、学業等への影響が非常に懸念される。県知事や県教育長、市長がゲームをする姿が先日報道されたが、そうした推奨は民間活力に任せべきと考える。eスポーツの現状と青少年への影響を最小限に抑える対応について、見解を伺いたい。

A 県内では産学官が連携して盛り上げに取り組み、本市でも取組企業が増えている。高校等6校で部活動が設立され、青少年への普及も進んでいる。地域活性化への効果が期待できる非常に魅力あるツールであり、新たな文化・産業としての発展も期待される。競技者、特に青少年の健康面等への影響も考慮し、県や企業、学校等とも連携し、今後の取組の検討を進める。



eスポーツ(イメージ)

その他の質問

- 中学における武道教育の実施状況は
- 太陽光発電の現状と今後の課題は
- 農業体験の取組状況と今後の推進は

※3 好発年齢…ある疾病にかかりやすい、または起こしやすい年齢層のこと。子宮頸がんは30歳～40歳代、乳がんは40歳～60歳が好発年齢とされている。

立入検査の実施状況や南消防署建設等の進捗は



Q (1)近年、大規模火災により人命が失われる状況がある。防火対象物への立入検査の実施状況や改善状況、違反対象物公表制度に基づく公表の有無を伺いたい。(2)南消防署と緑岡出張所の建設工事の進捗状況を伺いたい。また、城東出張所の整備について見解を伺いたい。

A (1)昨年末と2月に他市で発生した大規模火災を受け60施設の緊急立入検査を実施した。昨年は1214施設の立入検査を行った。違反対象物31件のうち27件を是正した。また、違反対象物1件の情報を市HPに公表した。今後も厳格な違反対策に取り組む。(2)南消防署は令和4年度中の完成を目指す。緑岡出張所は4年度の設計完了に向け実施設計を進めている。城東出張所は今後の整備の在り方を新たな総合計画の中で検討していく。



建設中の南消防署

その他の質問

- ウイズコロナ時代の教育の在り方は
- 開放学級の教室不足解消に向けた取組は
- 鉛製給水管の解消状況と今後の見通しは

陳情の結果



【不採択】

○令和4年陳情第1号

水戸市職員による税金詐取

本陳情については、願意に沿いがたく不採択とした。

行政文書の開示の実施状況

水戸市議会情報公開制度は、公文書を公開することにより広く開かれた市議会を目指そうとする制度です。

令和3年度情報公開の請求及び決定の件数

請求件数	決定の区分				審査請求
	全部開示	部分開示	不開示		
			うち不存在		
33	33	—	—	—	—

市議会の運営

本会議 議員全員で構成し、市議会の意思を決定する会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的には全て本会議において決定します。また、議員が市政全般の施策等について市長の考えを問いただす代表質問、一般質問などを行います。

委員会

【議会運営委員会】
議会運営を円滑に行うため、各会派の代表者による8名の委員からなる議会運営委員会を設置しています。各会派の意見を調整し、議会運営上必要な事項に関し取り決めを行います。

【常任委員会】

市の業務は非常に幅広く複雑なため、少人数の議員で構成する常任委員会を設け、議案や請願などを専門的、能率的に審査しています。本市議会には、4つの常任委員会があります。

【特別委員会】

一般会計や特別会計の決算などを審査する特別委員会と、特定の問題を審査、調査する特別委員会があります。いずれも臨時的に設置し、その設置期間は審査、調査が終了するまでとなっています。

令和4年第1回臨時会の概要



2月3日に開催し、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策について補正措置を講じる議案及び報告を、原案のとおり可決、承認しました。

令和3年度一般会計補正予算(8号)
◆補正総額 21億700万円増
・子育て世帯緊急支援

令和3年度一般会計補正予算(9号)
◆補正総額 39億円増
・生活困窮世帯緊急支援

令和3年度一般会計補正予算(10号)
◆補正総額 5億7800万円増
・ひとり親世帯緊急支援
・障害児養育世帯緊急支援
・宿泊事業者緊急支援
・貸切バス事業者緊急支援
・公共交通等運行事業継続支援
・飲食事業者緊急支援

文教福祉委員会



令和4年度一般会計当初予算 (文教福祉委員会所管分)

主な質疑 民生委員経費の内訳、こども部設置による新たな相談支援体制、市民センター子育て広場事業の運営体制、生活保護申請に係る窓口体制、小児インフルエンザ予防接種事業の経費及び対象者数、子宮頸がん^{けい}予防接種の勧奨方法、新型コロナウイルスワクチン接種経費の内訳、医師修学資金貸与事業の詳細及び今後の見込み、A Iドリルの活用方策、教職員の資質向上に向けた研修会、部活動指導員、スクールソーシャルワーカーの配置計画、いじめ対応専門班の支援体制、学校給食における食材の調達方法及び地場農産物の活用状況、二の丸角檜アプローチ通路の整備方針など。

主な意見 (1)障害者就労支援事業については、地域事業所との関係を強化し、更なる障害者の工賃向上に努められたい。(2)新たに実施する福寿のつどいについては、リニューアルに至った経緯や地域の実情を十分に踏まえ、事業内容をさらに精査し、充実した事業となるよう努められたい。(3)放課後学級事業については、児童数に応じた適切な施設確保に取り組み、コロナ禍における運営体制の充実に努められたい。(4)新型コロナウイルスワクチン接種等各種予防接種事業については、対象者及び保護者に対し丁寧な情報提供を行い、接種率の向上に努められたい。(5)A E Tの更なる活用方策を検討し、学習効果の向上や英語に親しむ環境の創出に努められたい。(6)教職員の働き方改革については、児童生徒への教育環境の充実を第一に、業務効率化に向けた教職員の意識改革に努めながら鋭意推進されたい。(7)水泳授業環境整備事業については、市の水泳教育に関し重大な転換をするものであるが、事業方針についての説明責任が十分に果たされておらず、議会における審議が不足しているところである。執行に当たっては、事業内容をさらに精査した上で、新年度当初に当委員会に改めて報告されたい。

賛成多数

総務環境委員会



公の施設の広域利用に関する協議 公の施設の広域利用に関する協定の実施のための 特例条例の一部改正

主な質疑 使用料の設定根拠や予約の受付状況、市内及び市外の利用者割合など。

主な意見 各市町村との情報共有、連携をさらに深めるとともに、積極的な情報発信に努められたい。

全会一致 賛成

令和4年度一般会計当初予算 (総務環境委員会所管分)

主な質疑 公共交通空白地区等における1,000円タクシー運行事業の運営、デジタルまちづくり推進事業の具体的な取組、三の丸市民センター及び水戸芸術館の改修、キッズゾーンの整備、浜見台霊園合葬式墓地の整備概要、新斎場整備事業のスケジュール、旧小吹清掃工場の解体後の跡地利活用、青柳公園スケートボード場の整備概要、新型コロナウイルス感染症の税制特例措置の終了に伴う市税収入への影響など。

主な意見 新たに防災ラジオを配布する地区については、住民への丁寧な周知、説明に努められたい。

賛成多数

新市民会館整備等調査特別委員会



財産の取得(水戸市民会館舞台照明機器)

主な質疑 入札方式、入札辞退の理由及び指名業者の選定方法など。

主な意見 今後予定される市民会館の物品調達に係る入札においては、競争原理がより適切に働くよう十分に留意されたい。

賛成多数

建設企業委員会



都市下水路等管理条例の一部改正

主な質疑 樋門等の設置時期や自動開閉ゲートの設置基準, 増水時におけるゲート操作など。

主な意見 災害時において樋門等が確実に機能するよう, 適切な点検に努められたい。

全会一致 賛成

令和4年度一般会計当初予算 (建設企業委員会所管分)

主な質疑 狭あい道路整備の進捗状況, 通学路における交通安全対策, 泉町1丁目北地区市街地再開発事業の整備スケジュール, 泉町1丁目広小路地区優良建築物等整備事業の補助要件及び事業計画, 市営住宅長寿命化型改修事業の工事概要など。

主な意見 (1)狭あい道路及び後退敷地整備事業については, 地域住民の利便性向上を図るため, 事業の推進に努められたい。(2)交通安全施設整備事業については, 通学路や周辺住民への安全確保に向けた, 更なる対策を講じられたい。また, 歩道が狭い箇所においては, ガードパイプ等の設置を検討するなど, 道路状況に応じた適切な整備を推進されたい。(3)新市民会館については, 来年7月の供用開始に向け, 適切なスケジュール管理の下, 整備を推進されたい。(4)泉町1丁目広小路地区優良建築物等整備事業の工事に当たっては, 十分な安全対策を講じられたい。また, 事業の進捗を適宜, 委員会に報告されたい。(5)住宅整備事業においては, 屋根や外壁の改修とともに, 長期居住に係る室内の修繕についても検討されたい。

賛成多数

産業消防委員会



令和4年度一般会計当初予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑 広域連携事業として実施するいばらき県央地域オンライン合同企業説明会の概要や開催方法, 農業担い手支援に係る事業の予算配分, 新規就農者への支援体制, 市民農園に関する取組と今後の方針, 学校給食における地場農産物の利用率や活用促進事業に要する経費の積算根拠, 地籍調査の実施箇所及び目的, 松くい虫やナラ枯れの被害状況, 中心市街地活性化に資する各事業の実績及び利用見込み, 広域連携事業における産業活性化コーディネーターの配置に係る予算の負担割合, 弘道館・水戸城跡周辺地区誘客促進事業補助金の対象経費, 県央地域における広域観光推進事業の取組状況と今後の方針, 消防団員の処遇改善により見込まれる効果など。

主な意見 (1)UJターン・若者定着応援事業の着実な推進と地元企業の情報発信強化を図り, 本市への移住・定住の促進につなげられたい。(2)農業振興を目的とする各事業の実施に当たっては, 市内の農業従事者の意見を十分に踏まえ, 実態に即した対応に努められたい。(3)学校給食における地場農産物の活用は, 児童生徒の地産地消や農業に対する理解を深めるとともに, 生産者の意欲向上にもつながることから, 更なる推進を図られたい。(4)中心市街地の活性化に当たっては, 令和5年7月に開館予定の新市民会館や弘道館・水戸城跡周辺地区をはじめとした魅力資源のPRに努めるとともに, 限られた予算を最大限に活用し, 新たなにぎわいの創出に取り組まれたい。(5)広域観光の推進事業については, 連携中枢都市圏の枠組みを生かし, 周辺市町村との緊密な連携を図られたい。また, 当該事業を牽引するリーダーとしての役割を自覚し, 本市並びに県央地域への誘客促進に向け, 戦略的に取り組まれたい。(6)消防団員の確保につながるよう, 報酬額の見直しによる処遇改善について, 市民への周知を徹底されたい。

全会一致 賛成

1 予算編成の基本方針(令和4年3月7日本会議 市長提案理由説明から)

「令和4年度予算においては、国及び地方の財政運営方針を踏まえ、みと魁プランの推進をはじめ、ポストコロナのまちづくりの推進、水戸ならではの地方創生の推進、行財政改革の着実な推進、みと財政安心ビジョンに基づく持続可能な財政基盤の確立という5つの基本方針の下、編成を行いました。

特に、将来にわたり水戸の成長と発展を牽引する人づくりの視点から、子育て支援と教育については、本市の最重要政策として、選択と集中の考えの下、重点的な財源配分を行い、施策の更なる充実を目指すことといたしました。

また、新市民会館の整備や連携中枢都市圏の取組など、本市の将来発展に不可欠な事業を着実に推進するとともに、新型コロナウイルス感染症対策については、ワクチン接種の早期完了を目指すほか、検査体制の確保、小中学校及び保育所の感染対策、事業者支援等に係る予算措置を講じました。」



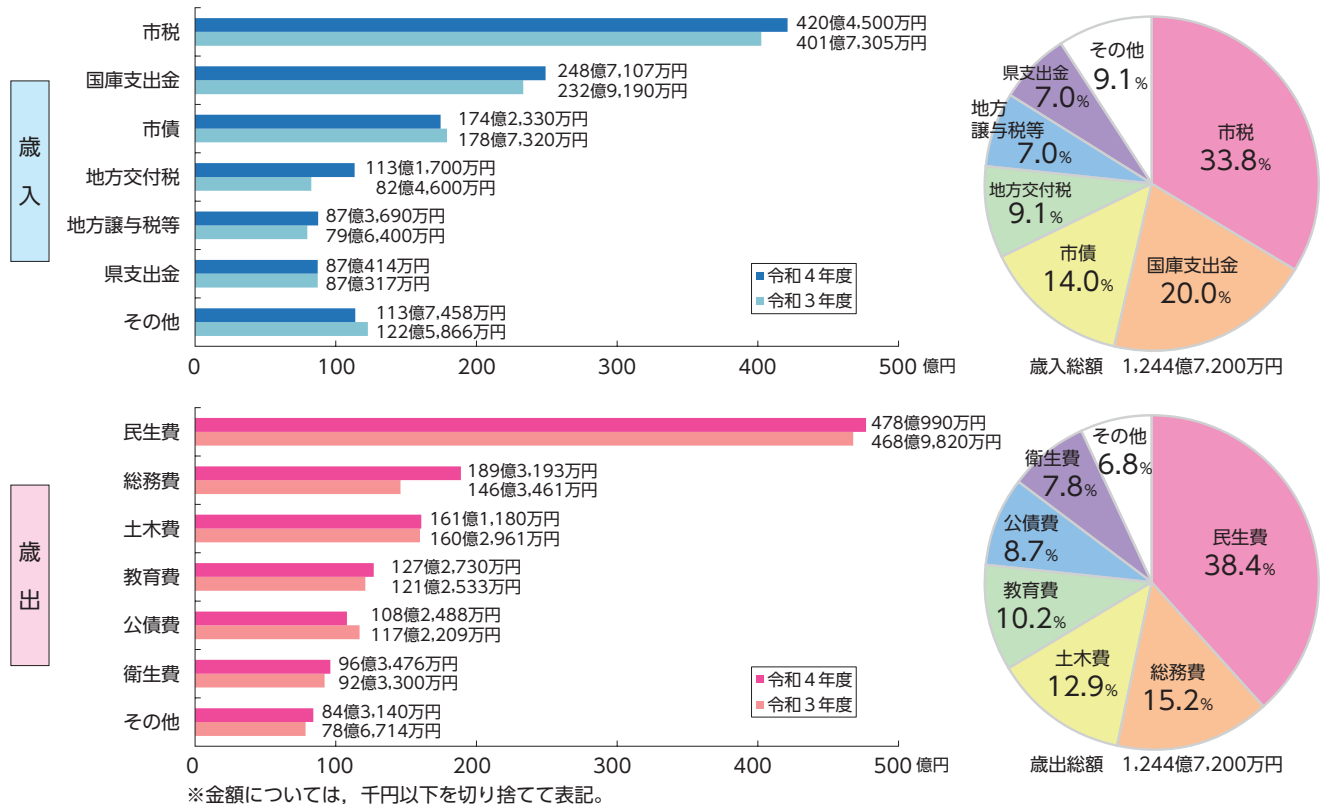
高橋市長

2 予算の規模等

(1) 予算の規模

区分	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
一般会計	1,244億7,200万円	1,185億1,000万円	59億6,200万円	5.0
特別会計	539億7,580万円	545億3,840万円	△5億6,260万円	△1.0
公営企業会計	289億5,800万円	288億2,900万円	1億2,900万円	0.4
計	2,074億 580万円	2,018億7,740万円	55億2,840万円	2.7

(2) 令和4年度一般会計予算の状況



令和4年度の新規事業

企画総務部門

移住・定住促進事業	383万円
泉町一丁目バス停留所整備事業	2,700万円
デジタルまちづくり推進事業	370万円
AIを活用した市民向け総合イベント情報発信	209万円

市民協働部門

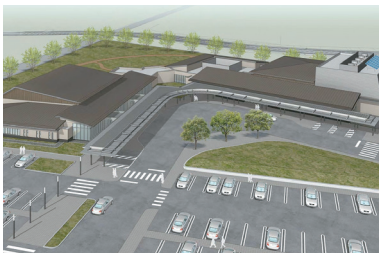
新市民会館プレオープン事業	350万円
Bリーグオールスターゲームの開催	1,000万円
キッズゾーン路面標示設置事業	264万円



キッズゾーン(イメージ)

生活環境部門

墓地公園整備事業	8,000万円
新斎場整備事業	3億1,900万円



新斎場(パース図)

福祉部門

生活困窮者支援事業	400万円
福寿のつどい(旧敬老会)の開催	2,160万円

こども部門

新生児聴覚検査助成事業	700万円
-------------	-------

産業経済部門

いばらき県央地域合同企業説明会の開催	550万円
事業継続応援支援事業	3億8,400万円
水田農業経営継続支援事業	3,300万円
市場開設50周年記念事業	400万円



公設地方卸売市場

教育部門

子育て応援学校給食支援事業	5,000万円
水泳授業環境整備事業	4,860万円
寿小学校長寿命化改良事業	3,500万円
梅が丘小学校屋内運動場長寿命化改良事業	1,200万円
学校施設の緊急安全対策事業	2億3,000万円
高校生社会参加促進事業	30万円

※金額は当初予算額を表す。

令和4年度の市政運営の基本方針及び市の予算については、広報みと(令和4年4月1日号)の特集



もご覧ください。



議会日誌

1/7	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会	2/24	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会	3/17	新市民会館整備等 調査特別委員会
1/27	議会運営委員会	2/28	議会運営委員会	3/18	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
2/3	臨時会(本会議) 議会運営委員会 総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会	3/4	代表者会議 議会運営委員会	3/22	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会
2/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会 行財政改革調査特別委員会	3/7	本会議	3/23	議会運営委員会
		3/14	本会議	3/24	議会運営委員会 全員協議会 本会議 議会報編集委員会
		3/15	本会議		
		3/16	本会議		
		3/17	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会		

議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。



議会中継



委員会会議記録

傍聴のご案内

本市議会では、本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。

各会議の傍聴を希望する方は、下記を参考にお越しください。※マスクの着用等にご協力願います。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付(定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
5	6 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	7	8	9	10	11
12	13 本会議 (代表質問)	14 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16 常任委員会	17 常任委員会	18
19	20 議会運営委員会	21 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	22	23	24	25

※6月7～12、18～20日は議案調査

編集委員会

委員長 後藤 通子

副委員長 森 正慶

委員

滑川 友理 須田 浩和 土田記代美
佐藤 昭雄 高倉富士男 大津 亮一
渡辺 政明 栗原 文隆 小川 勝夫
田口 米蔵

編集後記



水戸市マスコットキャラクター
「みとちゃん」

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は断じて容認できるものではありません。本市議会は断固抗議する決議を全会一致で可決し、政府に対し、決議文を送付しました。

今定例会では新年度の当初予算などの議案について、慎重かつ活発に審議し、議決しました。また、定例会中には地震や季節外れの雪に見舞われ、改めて災害への備えの重要性を強く認識したところです。今後も、市民の安心安全の確保のため、是々非々で取り組んでまいります。[栗原 文隆, 小川 勝夫 記]